

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 国際・地域共生促進コース

試験科目 論述

次の5問の中から、自分の研究計画に出来るだけ近い2問を選んで解答しなさい。解答は下記の「解答上の注意」にもとづいて書きなさい。

解答上の注意

- ① 解答は1問につき答案用紙1枚以内で書きなさい。
- ② 答案用紙には受験番号、選択した問題番号を書きなさい。
- ③ 同一の答案用紙に複数の問題の解答を書いてはいけません。また答案用紙の裏面を使ってはいけません。

問題1 近年、地域日本語教育においては、「ライフステージに応じた日本語教育」の重要性が提唱されている。ライフステージにおける事例を二つあげ、その目的、対象、内容について、論じなさい。

問題2 最近の日本では、LGBTの可視化が進み、「LGBTブーム」の到来とも言われている。こうした現象に対するあなたの意見を、具体例を挙げながら述べなさい。

問題3 近代化に伴う産業化により、公的領域と私的領域の分離が生じ、そこから次第に男性は公的領域へ、女性は私的領域へという近代的な性別役割分業が発生した。このように近代化が女性の主婦化を推し進めたとするのが「近代家族論」の要諦であるが、この「近代家族論」の理論的な可能性と限界について、それぞれ具体的事例をあげて説明しなさい。

問題4 翻訳の役割について、異文化理解、異文化交流の観点から論じなさい。

問題5 「文化相対主義」が、人類に普遍的だとされる価値と葛藤を生じさせる具体的状況を挙げ、その葛藤を調停するために有効な手段や対策について論じなさい。